

私が挑戦する理由。

10年前、高校教諭から柏市議会議員となり、子どもを取り巻く環境をより良くしていくため取り組んできました。教員経験と教育学研究を土台に、地域での活動を通して、地に足のついた議論を交わし、スクールソーシャルワーカーの導入やプログラミング教育を進めることができました。

教育は、経済・まちづくり、財政、福祉・医療、環境といった様々な領域と密接に関わっています。私は、教育を軸としながらも、柏市に関するあらゆる領域に取り組み、もっと柏がよくなるよう活動してきました。このまま柏市議会議員として、民主的な対話を重ねていくことに一定の手ごたえも感じ始めてきた、その時、新型コロナウイルスの感染が拡大し、社会が一変。

仕事がなくなる、生活の先行きが見えない、命さえ守られない。これまでの方法が通用しない。困っている人がより困り、子どもや立場の弱い人々にしわ寄せがいき、格差が広がり、分断が生まれた。

私自身、情報を発信し、皆様のお声をお聴きし、議会から働きかけてはきました。しかし、首長によって、ワクチン接種など自治体の対応は大きく異なることを痛感しました。

災害時体制、情報発信、デジタル化、地域経済、在宅医療、地域コミュニティなど、以前からの課題です。新型コロナにより、社会の課題が浮き彫りになったのです。人口減少や気候変動は、待った無し。このピンチをチャンスとできるかどうか、今が大事な時です。

「医療・健康」、「まちづくり・地域経済」、「教育・文化」を中心に新しい価値を創造する街を実現させます。旧そごう柏跡地、柏駅西北地区再開発、市立柏病院建て替え、中央図書館、公設市場など、先送りされてきた課題に対し、市職員との対話を大切にしながら、リーダーシップを発揮し、進めます。

しがらみのない山下だからこそ、新しいことを始められます。誠実な政治をつらぬきます。

柏はもっとよくなる。

どうか山下に、お力をお貸しください。

山下 洋輔

活動

- ・保護司
- ・柏まちなかカレッジ 学長
- ・一般社団法人 305 basketball 監事
- ・柏上三丁目町会 役員
- ・柏中央地域ふるさと協議会 環境部長

プロフィール

1978年4月生まれ。
東葛飾高校卒業。早稲田大学教育学部卒。
同大学院修士課程修了後、土浦日大高校にて教諭。
早稲田大学大学院教育学研究科博士課程単位取得後退学。
2011年9月から柏市議会議員（3期連続当選）
柏市監査委員（2020年9月～2021年9月）。

趣味・特技

歴史散策、剣道（三段）、武術、カポエラ、スケボー、バイク、JAZZ。図書館司書資格もあり。

著書

『地域の力を引き出す学びの方程式 柏まちなかカレッジにみる教育 × まちづくりの答え』（水曜社）

家族

妻、長男（2014年生まれ）、長女（2017年生まれ）
子育て真っ最中です。

LINEをご登録頂き、
山下への応援をお願いいたします。

公式HP



Instagram



公式LINE



Facebook



Twitter



YouTube



<https://y-yamasita.com>

討議資料 山下洋輔新聞 No.25



柏はもっとよくなる。
まずコロナに全力、そして未来へ。

や
ま
し
た
よ
う
す
け
山下洋輔

無所属 柏市議10年 2児の父

1 医療・健康

新型コロナ対策に全力

- ・ 急変に対応できる自宅療養者のための健康観察センターの設置。
- ・ PCR検査体制の増強と抗原キットの配布。
- ・ 保健所のDX(デジタル化)。
- ・ 困窮事業者・世帯・個人への迅速かつ十分な支援。
- ・ 新分野への進出や転換を支援し、新たな価値を創造する産業育成。
- ・ 市内事業者のための新型コロナ対応バックオフィスセンター設置。
- ・ 正確で、迅速、適切な情報発信。
- ・ 熊谷俊人 千葉県知事との連携。



現場主義の熊谷県知事(当時:千葉市長)と柏市民の声を聴く

市民の命を守る医療環境整備

- ・ 市立柏病院を現地で建て替え、感染症医療や災害時医療、小児救急への対応を強化。
- ・ 重症者用の感染病床数の確保。
- ・ 安心して出産できる周産期母子医療センターの設置。

高齢者にやさしいまちに

- ・ シニア交通費助成制度の創出。
- ・ 「独居老人」への支援。
- ・ かかりつけ医制度の創出。
- ・ 医師の指導のもと、市民一人に寄り添う訪問看護体制の整備。
- ・ 団塊の世代の経験と知恵を生かしたシニアの就労機会の創出。
- ・ 高齢者にやさしいデジタルサービス。
- ・ 生きがいや交流を生む生涯学習の充実。

2 まちづくり・地域経済

- ・ 柏の資源でもある3つの拠点(柏駅周辺、柏の葉、手賀沼周辺)のさらなる魅力向上による都市経営。
- ・ 8つの生活拠点(南柏、北柏、豊四季、新柏、増尾、逆井、高柳、柏たなか)の利便性を高め、暮らしやすい街に。
- ・ 交通の不便な地域には多様な交通手段を整備し、防犯も強化。

柏駅前-市民が誇りを持てる街に

- ・ 柏駅周辺に魅力的なコンテンツ(図書館、ホール、緑あふれる交流広場など)を集積させ、交流人口を増加させます。(そごう柏跡に図書館も備えた複合文化施設を。柏駅西口にはニューヨークのブライアント・パークのような公園を。)
- ・ 歩行者やベビーカー、車椅子に優しい歩行環境の整備。

災害に強いまちに(レジリエント シティ)

- ・ ゲリラ豪雨対策とグリーンインフラの整備。
- ・ 避難所運営体制の再建と地域防災拠点の拡充。
- ・ 帰宅難民への備えと広域での協定。
- ・ マンション防災。

地域経済を活性化させる公共交通網

- ・ 高齢者社会に備えた市民の移動を保障するコミュニティ交通の整備。
- ・ 柏駅⇄柏の葉キャンパス駅を結ぶ路面電車(LRT)。
- ・ 市内交通渋滞対策。
- ・ 自転車道ネットワーク整備。



フライブルク市(ドイツ)の路面電車

エネルギーの地産地消

- ・ 市内で発電し、市外に流出させていた光熱費を市内に循環させ、収益を公共交通や緑地保全に還元し、災害時にも備えます。

食、農、自然

- ・ 地産地消のレストラン、ファーマーズ・マーケット、パン屋、おいしいワインやお酒、こだわりのカフェ、信頼できる食料品店、環境や健康への意識が高いまちに。
- ・ 食のプラットフォームとして新しい価値を生む柏市公設市場。



3 教育・文化

まちに人を呼ぶ次世代型の図書館を

- ・ 価値創造社会を先導する次世代型図書館への転換。
- ・ 地域経済に貢献する文化複合施設(図書館、美術館、博物館・科学館、子育て支援、起業支援、防災機能など)。
- ・ 地域の知恵や情報や人が繋がり、助け合い、交流し、イノベーションが生まれる拠点。
- ・ 図書館分館や学校図書館、移動図書館による市内の図書館ネットワークを整備。

一人も見捨てない教育を

- ・ 不登校支援-公立フリースクールやオンライン学習体制の整備。
- ・ スクールソーシャルワーカーの配置拡充。
- ・ 障害のある児童・園児や日本語の指導が必要な外国籍の児童・園児等への支援体制の整備。
- ・ 学級数の減少した学校施設に、保育所や高齢者施設、行政窓口なども設置し、学校を地域の拠点に。



学校給食の無償化と自校方式

- ・ すべての学校に給食室を設置し、防災や地域の拠点に。
- ・ 給食無償化とオーガニック給食の推進。
- ・ 栄養士や地域と連携した食育。

世界が注目する公教育を、柏から

- ・ 自治体をあげて子どもが育つ環境を整備(レッジョ・エミリア市)。
- ・ 部活と地域スポーツの環境整備。
- ・ 待機児童を解消し、幼児教育・保育の質の向上に転換。
- ・ 国際バカロレアを柏市内の小・中学校に導入。

学び直し(リスキリング)の支援

- ・ デジタル化によって生まれる新しい仕事に必要なスキル習得を支援。

山下洋輔の政策集「柏はもっとよくなる」

組織やお金の力ではなく、市民一人ひとりの思いをカタチに。
山下洋輔への応援の輪を広げていくため、拡散(RT)をお願いいたします。